

第28回 2015年度

人権啓発東京講座

【主催】 一般社団法人 部落解放・人権研究所

【後援】 部落解放同盟中央本部

公益社団法人 全国人権教育研究協議会

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議

東京人権啓発企業連絡会

東日本部落解放研究所

一般財団法人 松本治一郎記念会館

キャリア形成促進助成金について

この制度は、厚生労働省の制度で、企業内における労働者のキャリア形成の効果的な促進のため、目標が明確化された職業訓練の実施、職業能力開発休暇の付与、長期教育訓練休暇制度の導入、職業能力評価の実施またはキャリア・コンサルティングの機会の確保を行う事業主に対して助成する制度です。制度の詳細については、雇用・能力開発機構各都道府県センターにお問い合わせください。

ホームページ <http://www.mhlw.go.jp>
(厚生労働省・都道府県労働局)

講座内容

もしかして、あなたの人権感覚はズレてる？

21世紀は「人権の世紀」です。今一度、あなたの人権感覚をみがいてみませんか。

◎多様性あふれるテーマ、充実の講師陣！

様々な人権問題を取りあげている基礎講座です。各分野の第一線で活躍している総勢 23 名の人権スペシャリストたちの講義は、問題の基本を押さえつつ、最先端の話が聞ける貴重な経験です。

◎体験と交流をとおして、ゆたかな人権感覚を！

3カ所の現地学習（フィールドワーク）や体験学習（ワークショップ）、班ごとのふりかえり（グループディスカッション）等をとおして問題意識を深め、ゆたかな人権感覚を目覚めさせます。

◎あなたも人権リーダーに！

講座修了後には、あなたの人権感覚は、きっと生まれ変わっていることでしょう。講座で学んだことを職場や暮らしの中で大いに役立ててください。

定員 50名（先着順）

受講料 150,000円 + 消費税

- 教材費、宿泊研修費を含みます。
- 現地学習および宿泊研修での交通費は含みません。

※聴講可能な講座もあります（受講料 3,500円 + 消費税）。詳しくは問合せ先 事務局までご連絡ください。

プログラム

	今日のテーマ	午前	午後1	午後2
		9:30~11:30	12:40~14:40	15:00~17:00
第1日目 9月30日 (水)	差別とは何か	開会式	【基調講演】 発展し続ける人権と人権の国際化 内田博文	【部落問題】 近現代部落史—(今)を見つめて— 黒川みどり
第2日目 10月1日 (木)	社員の様々な バックグラウンド	【女性問題】 女性差別をなくす— 女性差別撤廃条約と日本 申恵丰	【HIV】 日本のHIV・エイズの“いま” 高久陽介	【在日問題】 ヘイト・スピーチって何？ 金尚均
第3日目 10月6日 (火)	見えない差別 見える差別	(移動)	【宿泊研修】 講義・フィールドワーク(長野)	
第4日目 10月7日 (水)		【宿泊研修】 講義・フィールドワーク(長野)	【見た目問題】 見た目の症状とともに 自分らしく生きる 外川浩子	(移動)
第5日目 10月22日 (木)	「生まれ」で人生が 決まるのか	【部落問題】 部落に生まれて、部落に育つ 組坂繁之	【現地学習】 講義・フィールドワーク(東京)	
第6日目 10月23日 (金)	社員の様々な バックグラウンド	【自死問題】 誰も自殺に追い込まれることのない 社会へ 根岸親	【刑余者の就労】 監獄から社会に帰ってくる 彼らと私たち 海渡雄一	【認知症当事者】 認知症と、よりよく生きる 吉田美穂/水谷佳子(パートナー)
第7日目 10月27日 (火)	身のまわりの人権	【子どもの人権】 子どもの人権保障~困難を抱えている 子どもの支援~ 川村百合	【メディアと人権】 SNS時代、今や貴方も発信者 下村健一	【差別禁止法】 「障がい者」差別をとおして、 差別禁止法を考える 池田直樹
第8日目 10月28日 (水)	企業のあり方 (コンプライアンス)	【薬害問題】 薬害が語る、社会正義の ありようとは？ 増山ゆかり	【ハラスメント】 職場のハラスメント問題を考える 内藤忍	【企業経営と人権】 変化する内外情勢をふまえて 北口末広
第9日目 11月18日 (水)	なぜ差別は 起こるのか	■ワークショップ■ 人権って何だろう？—「私」と「あなた」を起点に— ファシリテーター:若柳翼		【部落問題】 日常の中の部落差別 上川多美
第10日目 11月19日 (木)	差別と隔離	【現地学習】 講義・フィールドワーク(ハンセン病資料館と当事者の語り)		
第11日目 11月25日 (水)	企業のあり方 (働く環境)	【障害者差別解消法】 障害者の雇用と差別 野沢和弘	【LGBT】 LGBT(性的マイノリティ)も働き やすい職場とは？ 薬師実芳	【過労死問題】 日本の働き方をかえる 中原のリ子
第12日目 11月26日 (木)	総括	【職場の人権研修】 職場を元気にする人権 竹内良	人権研修プランづくり & プレゼン	【総括講演】 人権で世直し 奥田均

※各日、講義終了後(17:00-17:30)にふりかえり(グループディスカッション)を行います。ふりかえりまで必ずご出席ください。

※第8日目(10月28日)および最終日(11月26日)は、講義終了後に懇親会を予定しております。

現地学習／宿泊研修



国立ハンセン病資料館

ハンセン病を知る

東京都東村山市の東北端にある国立療養所多磨全生園。隣接する国立ハンセン病資料館は、他に類を見ないほど充実した資料をもとに、ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発による偏見・差別の解消と、患者・元患者のみなさんの名誉回復をめざしています。現地学習では、ハンセン病の歴史を学び、実態と向き合います。



産業・教育資料室 きねがわ

部落問題を知る 東京（現地学習）／長野（宿泊研修）

フィールドワーク（皮革なめし工場見学など）や当事者の語りから、部落差別の歴史と現状を学びます。現実を知り、正しい知識を得るとともに、偏見や差別のない社会づくりについて考察を深めます。協力：産業・教育資料室 きねがわ／部落解放同盟東京都連合会 墨田支部／人権センターながの

講師紹介



内田博文 神戸学院大学法学部教授

人権を放棄することはできるのでしょうか。人権は発展するのでしょうか。日本には日本独自の人権があるのでしょうか。日本の人権水準は如何でしょうか。一緒に考えたいと思います。



金尚均 龍谷大学法科大学院教授

ヘイト・スピーチとはなにか？ 名誉毀損・侮辱と何が違うのか？ どうしてヘイト・スピーチという英語を用いるのか？ 外国ではどのように規制されているのか？ これらの疑問を通じて、ヘイト・スピーチの「害悪」と「被害」の実態とその内容を知る。



黒川みどり 静岡大学学術院教育学領域教授

現在の問題に向きあうために、歴史に学ぶことは大切なことだと思います。明治維新期から現在までの部落問題のありようを振り返りながら、今日の部落問題を考えてみたいと思います。



外川浩子 NPO 法人マイフェイス・マイスタイル 代表

想像できますか。見た目が重視される現代社会の中で、生まれつきのアザ、事故や病気による傷、火傷、脱毛などの見た目の症状とともに自分らしくいきいきと生きている人たちがいることを。



申恵丰 青山学院大学法学部教授

世界経済フォーラムが 2013 年に発表した男女平等ランキングで、日本は何と世界 105 位。女性議員が浴びる野次、妊娠した女性が受けるマタニティー・ハラメントなど、問題は山積しています。女性にも男性にも生きやすい社会を、どうすれば作っているのでしょうか。女性差別撤廃条約を手がかりに考えます。



組坂繁之 部落解放同盟中央本部執行委員長

福岡県の被差別部落に生まれ育ち、そのムラではじめての大学進学を果たす。海外移住を夢見たが果たせず、親友の自死等で自らの足でしっかりと生き抜く大切さを学ぶ。やがて、部落解放運動に入り、部落解放同盟中央本部執行委員長になったひとりの男のドキュメント。人間、組坂繁之を語る。



高久陽介 NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス代表理事

「HIV」「エイズ」と聞いて、どんな印象を持ちますか。なんとなく恐怖を感じた方、外国の話でしょ？ と思った方は、必聴です。日本には、すでに 2 万 5 千人の HIV 陽性者（感染が分かった人）が暮らしています。



根岸親 NPO 法人自殺対策支援センター ライフリンク 副代表

自殺の多くは、決して身勝手な死ではなく、「追い込まれた末の死」です。現代日本の自殺の実態、遺されたご遺族の声、そして、私たち一人一人に何ができるのかを、一緒に考える機会になればと思っています。

講師紹介



海渡雄一 弁護士、NPO 法人監獄人権センター代表

あなたと同じ空の下に、罪を犯し、長い期間を塙の中での強制労働に従事して、刑を終えて社会に復帰してくる人たちがいます。彼らは、仕事に就きたい、でも前科がわかれば、会社をクビになるかもしれないと怯えながら暮らしています。罪を償った彼らを「おかえりなさい」と社会に迎え入れるために、どうすればよいのか、ご一緒に考えてみましょう。



吉田美穂 認知症当事者、日本認知症ワーキンググループメンバー

診断を境に、ネガティブなイメージが付きまとう認知症。それは、周囲との人間関係を崩し、診断された本人を蝕みます。「認知症になってから、どう生きるか」、ともに考えませんか。

水谷佳子 日本認知症ワーキンググループパートナー



川村百合 弁護士、社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事

我が国も批准している子どもの権利条約の理念は、「子どもは、保護の客体ではなく、人権・権利の主体である」というものです。この意味が分かりますか？ また、この理念に則った行動を、我々大人はしていますか？ 子どもの人権が守られる社会は、大人の人権も守られる社会です。



下村健一 元 TBS 報道キャスター

SNS の発達で、今やあなた自身もメディアです。他人事ではありません。被害者、加害者、遺族、被差別者…の人権を守りつつ、過剰にビビって腫れ物に触るような逆差別もせず、フラットな発信できますか？



池田直樹 弁護士、日弁連障がい者差別禁止法に関する特別部会委員

「障がい」のある人はその障害特性を理解され、対等の仲間として社会参加する権利があります。福祉とは「弱者保護」「恩恵」ではなく「ニーズに応じてサービスを提供するシステム」です。



増山ゆかり 公益財団法人いしずえ(サリドマイド福祉センター) 常務理事

サリドマイド薬害から 50 年が経ちましたが、その後も HIV、スモン、C 型肝炎など、日本では薬害が繰り返されています。経済主導の社会構造が多発する薬害の背景にあると言われてはいますが、あなたは薬害について、いま何を知っていますか？



内藤忍 独立行政法人労働政策研究・研修機構 副主任研究員

セクハラ、パワハラ、マタハラ、アカハラ、アルハラ・・・世の中はハラスメントであふれるようになってしまいました。何が法律違反で、何が倫理上いけないレベルのハラスメントなのでしょうか。一緒に考えましょう。



北口末広 近畿大学人権問題研究所主任教授

人口変動や科学技術の進歩にともない社会が大きく変化し、人権問題をはじめとする社会的課題も大きく変動している。そうした中で社会的課題の解決に向けた企業の役割がますます高まっている。こうした視点で今後のビジネスと人権について考えていきたい。



若柳翼 教育研修デザイナー、プロコーチ

このコマは、参加型研修の時間です。一方通行の講義ではなく、身体や頭を使って「人権」や「差別」を考えていきます。背伸びせず、自分ごととして人権を捉える機会を共に作りましょう。



上川多実 BURAKU HERITAGE メンバー

部落差別は昔の話？ 西日本の話？ 自分には関係のない世界のこと？ いやいや、実は身近なこともかもしれない、実は自分も加担しているかもしれない、そんな視点から、部落差別について考えてみませんか？



野沢和弘 毎日新聞論説委員

合理的配慮ってむずかしそう？ 障害者差別解消法ってこわそう？ それは誤解です。生きにくい世の中を根底からやさしくし、だれもが働きやすい職場にするためのものです。障害者だけ良くなったり得したりするものではありません。



薬師実芳 NPO 法人 ReBit 代表理事

LGBT (性的マイノリティ) は日本人口の 7.6%、約 13 人に 1 人とされています。職場における理解の有無は、やりがいや生産性に影響するという調査も。LGBT の社員にとっても働きやすい職場づくりのために今日から取り組めることをご紹介します。



中原のり子 全国過労死家族会東京代表

誰かが過労で悲鳴をあげても「私も大変だから」と見過ごし、「頑張ろう」の一言で問題を置き去りにしていませんか。[KAROSHI (過労死)] が国際語となって 30 年あまり。過労死をなくすためには、みなさんの理解と、国・自治体・企業の協力が重要です。



竹内良 東京人権啓発企業連絡会専務理事

企業の行う人権研修は、成人研修であり企業人研修です。差別はいけないことと、みんな分かっています。この「分かっている」ことをもう一度考えたいのです。あ、そうか、と思わず膝打つ研修ってなんだろう、人権ってなんだろう。



奥田均 近畿大学人権問題研究所教授、部落解放・人権研究所代表理事

差別はいけないと思います。でもそうした問題がどうして私たちに関係しているのでしょうか。実は案外、深く関わっているのですよ……………。

過去受講生を派遣された組織

IHI、あいおいニッセイ同和損害保険、あおぞら銀行、朝日生命保険、味の素、アメリカンホーム保険、安藤・間、イオン、イオンモール、イトーヨーカ堂、イトキン、IMAGICA、EMGマーケティング、エクソンモービル、エーザイ、NEC、NECシステムテクノロジー、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、エヌ・ティ・ティ・コムウェア、エヌ・ティ・ティ・ソルコ、エヌ・ティ・ティ・データ、エヌ・ティ・ティ・都市開発、エヌ・ティ・ティ・ドコモ、エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ、エヌ・ティ・ティ・ファシリティーズ、荏原製作所、大内新興化学工業、大林組、オムロン、オリエントコーポレーション、学研ホールディングス、学研プロダクツサポート、関西ペイント東京工場、関電工、関東電気保安協会、かんぽ生命保険、共栄火災海上保険、協同セミナー、清原住電、キリン、キリンホールディングス、近畿日本ツーリスト、クラシエ、栗田工業、群馬銀行、京成電鉄、京浜急行電鉄、原子燃料工業、航空電子ビジネスサポート、コスモ石油、コスモビジネスサポート、小林製薬東京支社、五洋建設、コロムビアミュージックエンタテインメント、佐川急便、佐藤工業、三菱、産業振興、資生堂、資生堂化粧品販売、清水建設、自治労、蛇の目ミシン工業、ジャパンエナジー、JFEスチール、商工組合中央金庫、商船三井、城北信用金庫、昭和大学、昭和電工、信越エンジニアリング、信越化学工業、新生銀行、ジンダイ、新日本石油、住友金属物流、住友信託銀行、住友生命保険、住友電気工業、住友電設、住友電装、ソニー、ソフトバンクテレコム、損害保険ジャパン日本興亜、ダイア建設、第一生命保険、ダイエー、大京、大成建設、太平洋セメント、ダーバン、大同生命保険、ダイハツ工業、大和証券グループ本社、大和ハウス工業、中外製薬、帝国ホテル、電通、東海カーボン、東京海上日動火災保険、東京ガス、東京電力、東芝、東芝総合人材開発、東芝プラントシステム、トピー工業、トピー実業、飛島建設、ドン・キホーテ、日新火災海上保険、日新製糖、日清製粉グループ本社、日清紡ホールディングス、ニッセイ・リース、日本興亜損害保険、日本生命保険、日本たばこ産業、日本電気協会、日本航空電子工業、日本山村硝子、ニューオータニ、農林中央金庫、ノザワ、野村證券、阪急電鉄、パレスホテル、東日本旅客鉄道、東日本電信電話、日立アプライアンス、日立化成、日立キャピタル、日立金属、日立建機、日立国際電気、日立システムズ、日立製作所、日立ソリューションズ、日立電線、日立オートモティブシステムズ、日立オムロンターミナルソリューションズ、日立電子サービス、日立ハイテクノロジー、日立パワーソリューションズ、日立ビルシステム、日立プラントテクノロジー、日立物流、日立マクセル、日立メディコ、富士火災海上保険、富士ゼロックス、富士通、富士電機、不動テトラ、マイカル、丸ノ内ホテル、マルハニチロ水産、丸紅、丸紅情報システムズ、みずほインベスターズ証券、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井造船、三越伊勢丹ホールディングス、三菱化学、三菱地所、三菱地所レジデンス、三菱自動車工業、三菱製紙販売、三菱倉庫、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJニコス、三菱マテリアル、三菱UFJ信託銀行、メック・ヒューマンリソース、明治安田生命保険、持田製薬、山崎製パン、ゆうちょ銀行、雪印メグミルク、吉本興業、ラサ商事、リクルート、りそな銀行、レナウン、東京都、大田区、品川区、港区、目黒区、大分県大分市、千葉県佐倉市、千葉県松戸市、千葉県松戸市教育委員会、長野県御代田町、日本郵政グループ、練馬区社会福祉事業団、カトリック新聞社、カトリック中央協議会、浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、神社本庁、世界救世教いづのめ教団、世界救世教主之光教団、全日本仏教会、曹洞宗、天台宗、天理教、東方之光、日本聖公会、本門佛立宗、立正佼成会、朝日新聞社、講談社、産業と経済、産経新聞社、時事通信社、集英社、小学館、星和ビジネスサポート、中央公論社、テレビ朝日、東京新聞、東京メトロポリタンテレビジョン、日本映画衛星放送、日本放送協会、日本放送出版協会、フジテレビジョン、双葉社、文藝春秋、ベネッセコーポレーション、ポニーキャニオン、マガジンハウス ※統廃合などによって掲載されていない組織もあります。(順不同、2015年5月現在)

修了生の声

服部雅幸 (第27期生)

第一生命保険株式会社 人事部 人権啓発室



2014年4月人権啓発室へ異動となりました。知識・経験もそれほどなく不安だったその時、周囲の方から「東京講座を受講すれば大丈夫」という激励の言葉をいただき、期待を胸に初回講義を迎えたことを思い出します。

予想に違わず素晴らしい講義の連続でした。座学は各分野第一線の講師陣による、具体的事例をもとにした非常にわかりやすい充実した講義でした。フィールドワークも、事前知識だけではわからない現地の実体験からは、これからの人生全体に影響を与えるような衝撃を受けま

した。また、当事者からのお話は心揺さぶられることばかりでした。

さらに、現在も続く同期生メンバーとの交流は貴重な財産となっています。受講中は激論を交わし、受講修了後は各社取組の情報交換を実施しており、何にも代えがたい仲間となっています。

東京講座には、人権啓発だけではなく人生に役に立つ内容が満載です。皆さんも是非前向きに取組んでいただき、東京講座を有意義なものにしていきたいと思います。

箱崎恵里花 (第27期生)

曹洞宗宗務庁



人権関係の部署に配属になったことをきっかけに、受講させていただきました。部落差別問題をはじめ様々なマイノリティの方からお話を伺えたことはとても貴重な経験となり、世の中には自分の知らないところで誰にも悩みを話さず、苦しんでいる人々がいることに大きく気付かされました。

私自身は差別をしていないと思っていても、「自分に

も差別意識があるのではないか。」と感じる事もありました。講座の最後のふりかえりの時間では、講座の内容について班で話し合う中で、受けとめ方の違いや、多様な考え方を知ることができました。

東京講座を通じて学んだことは、自分自身の成長に繋がったと感じています。

近藤 修 (第27期生)

株式会社ドン・キホーテ 総務本部 人権啓発推進室



「人権」ということについて深く考えることも学ぶこともなく、40数年過ごしてきた私が、突然社内の人権啓発担当者となり、すぐに受講したのが、昨年のこの講座でした。

当時、「人権啓発」という言葉から私がイメージしていたのは「何だか重たいな〜」とか「難しそうだな〜」といったようなことでした。そのため、この講座の受講についても、正直あまり気が進まなかったのを覚えています。

しかし、そんな気持ちも受講が進むにつれ消えていき、講座が終盤に差し掛かると「もう終わっちゃうの?」と感じるようになっていました。それはなぜか? 理由は簡単です。「人権」とは重たくもなく難しくもない、我々

の身近にある問題だったからです。「社内の啓発担当者になったから受講した」というのがきっかけですが、最終的にはひとりの人間として気づくことや学ぶことがとても多かったと感じています。この講座を通じて、私が得た一番の収穫は「受講前より少し気持ちがやさしくなったこと…」です。人権啓発とはこんなことの積み重ねなのかなと感じました。

最後に、丸一日の講義でたまたに睡魔に襲われウトウトしてしまうこともありましたが(すみません)、とても充実した時間を過ごすことができました。今後もこの東京講座が未永く続いていくことを切望しています!

申 込

- ◎**申込方法** 2015年9月18日(金)までに、下記の申込書に必要事項を記入し、部落解放・人権研究所啓発企画部「人権啓発東京講座事務局」まで郵送、FAXまたはメールにてお申し込みください。受講決定通知書と請求書を送付します。(定員になり次第、締切ります)
- ◎**申込み・問合せ先** 一般社団法人 部落解放・人権研究所 啓発企画部 人権啓発東京講座事務局
〒552-0001 大阪府大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F
TEL.06-6581-8576 FAX.06-6581-8540 E-mail tokyo28@blhrii.org
- ◎**振込先** りそな銀行 桜川支店 普通預金 0487613 一般社団法人 部落解放・人権研究所
代表理事 奥田均(おくだ ひとし) ※受講料は2015年9月29日(火)までにお振り込みください。
- ◎**講座期間** 2015年9月30日(水)～11月26日(木)までの期間の12日間
受講生は原則として全講義を受講してください。
※8割以上の出席とふりかえりシートの提出が修了の要件です。あらかじめご了承ください。
※班ごとのふりかえりまで必ずご出席ください。

会 場



一般財団法人 松本治一郎記念会館
中央区入船 1-7-1 TEL.03-6280-3360
地下鉄日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A2出口より徒歩3分
地下鉄有楽町線「新富町駅」7番出口より徒歩7分



ユートリヤ(すみだ生涯学習センター)本館
墨田区東向島 2-38-7 TEL.03-5247-2001
東武伊勢崎線、東武亀戸線「曳舟駅」より徒歩5分
京成押上線「京成曳舟駅」より徒歩5分
都バス「東向島広小路(すみだ生涯学習センター前)」より徒歩1分

※会場は講義日程により異なります。詳細は事務局までお問合せください。

----- キリトリ線 -----

受講申込書

フリガナ お名前	勤務先 部署名
勤務先 所在地	e-mail
受講関係 書類 送付先 (上記と異なる場合のみ)	TEL: FAX:
TEL: FAX:	TEL: FAX:

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報は、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。
※ふりかえりシートのフォーマット等をお送りいたしますので、**個人用(職場・自宅どちらでも可)のメールアドレスを必ず明記下さい。**